

第1回愛南町^{うみぎょう}海業推進会議を開催しました！



7月27日(木)、役場本庁大会議室で全国初となる「海業推進会議」を開催しました。

会議冒頭で清水雅文町長は「皆さまのご意見、ご提案が本町の未来の新しい扉を開くものと、大いに期待しています。町の未来を担う私たち、皆さまの力で、海業をきっかけに一つになり、町全体を盛り上げていきたい」と期待を込めて挨拶をしました。

会議は2部構成で行われ、第1部では、海業について、水産庁から着任した海業推進室の浜辺室長と、海業の専門家である東海大学海洋学部水産学科の李銀姫^{りぎんき}准教授が、外から見た愛南町の魅力や、地域資源、海業は誰がやるものなのかなどについて、トークセッションを展開しました。



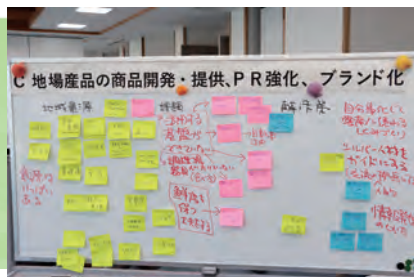
第2部では、グループセッションとして、ふせんを使ったグループワークと発表を行いました。参加委員はA、B、Cの3グループに分かれ、海洋環境の保全やSDGs、拠点整備、レジャー、PR強化やブランド化などのテーマについて活発な議論を交わしました。



グループ発表では、①愛南町の魅力、②課題、③解決策ややりたい姿の3つを軸とし、廃棄物を資源と捉えて利用しつつ「何度も来たいと思う町」をコンセプトにネーミングをつけたAグループ、アイデアがたくさん出て時間が足りず議論を尽くしきれなかったBグループ、元気な高齢者の活躍や新たな人材育成を考えたCグループと、それぞれ異なる特徴が発揮された発表が行われました。



会議の資料や概要は右下の二次元コードから確認いただけますので、是非ご覧ください。



今年度の海業推進会議では、海や漁村を舞台とした「なりたい未来」を集めた「愛南町海業グランドデザイン(仮称)」を策定する予定です。会議の議論はもちろん、未来を担う私たち町民、若者との意見交換なども開催したいと考えています。次回の会議は、9月後半に実施する予定です。

※「海業」は、「海や漁村の魅力と地域資源を活用して水産物の消費拡大と所得向上を図る事業」を総称した名前です。水産課海業推進室では、ぎょしょく教育や水産物販売促進、魚類真珠養殖支援、漁場保全など、これまでの水産振興の取り組みに加えて、漁家民宿や体験観光、マリンレジャー等々、漁業・水産業にとどまらない海に関連した取り組みを応援します。



愛南町
ホームページ